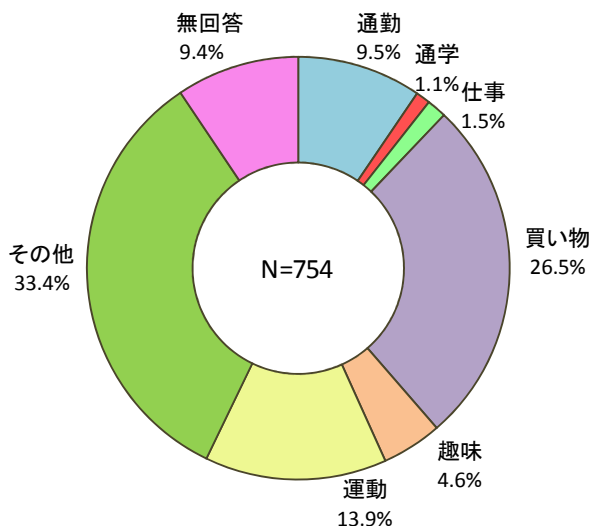


2. 自転車の利用実態等について

問1 あなたの自転車利用の目的を教えてください。
次の中から最も当てはまるものを1つだけお選びください。



【全体】

「その他」が33.4%と最も高く、次いで「買い物」が26.5%、「運動」が13.9%となっている。

【圏域別】

「その他」は、十勝圏（38.0%）で最も高く、次いでオホーツク圏（37.2%）となっている。「買い物」は、道北圏（36%）で最も高く、次いで道央圏（27.8%）となっている。

【人口規模別】

「その他」は、町村部（36.6%）で最も高く、次いで人口10万人以上の都市（34.6%）となっている。「買い物」は、札幌市（32.2%）で最も高く、次いで人口10万人以上の都市（25.5%）となっている。

【性別】

「その他」は、男性31.9%、女性35.1%となっている。「買い物」は、男性22.5%、女性30.6%となっている。

【年代別】

「その他」は、30～39歳（37.0%）で最も高く、次いで50～59歳（36.4%）となっている。「買い物」は、40～49歳（30.8%）で最も高く、次いで70歳以上（27.1%）となっている。

【職種別】

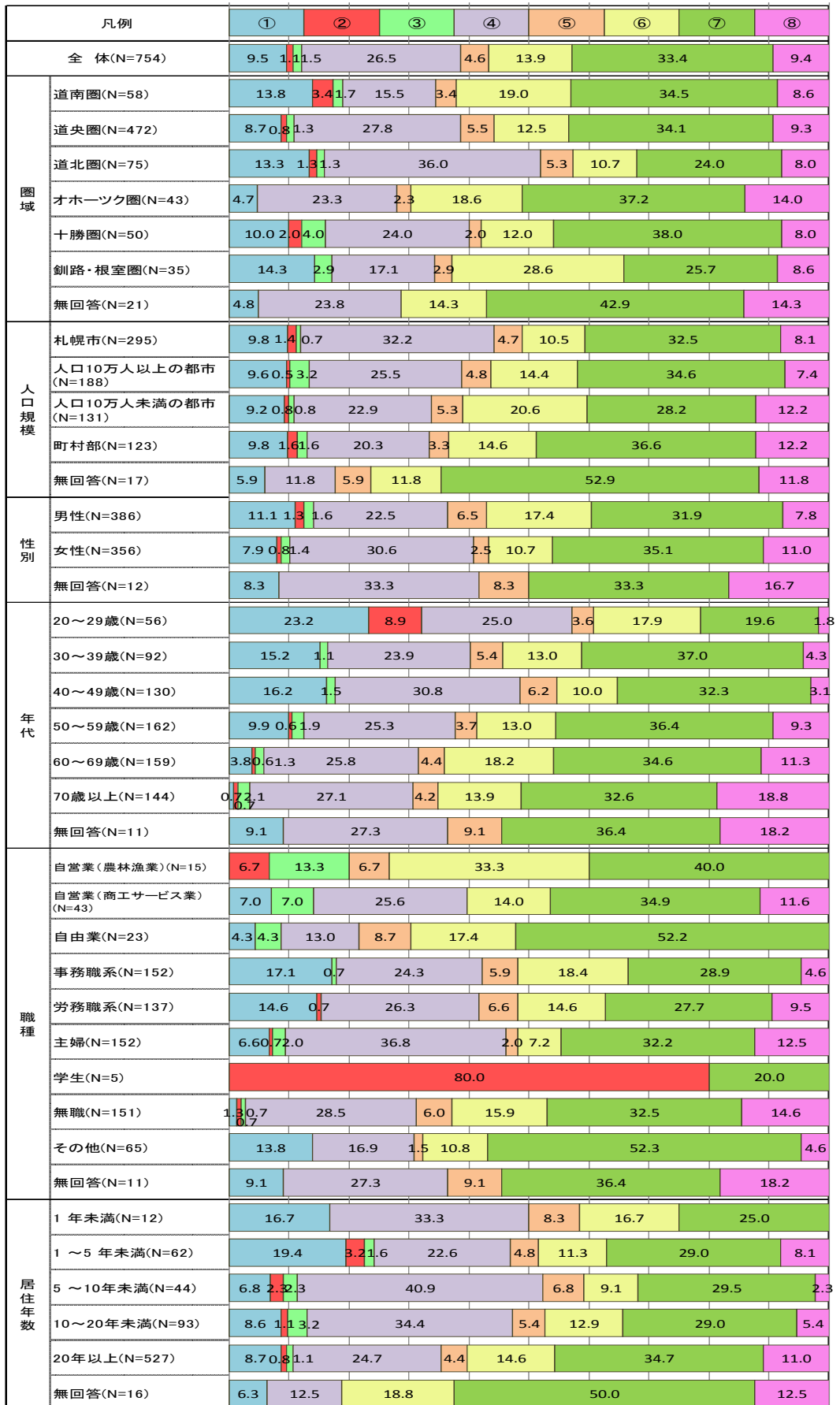
「その他」は、その他（52.3%）で最も高く、次いで自由業（52.2%）となっている。「買い物」は、主婦（36.8%）で最も高く、次いで無職（28.5%）となっている。

【居住年数別】

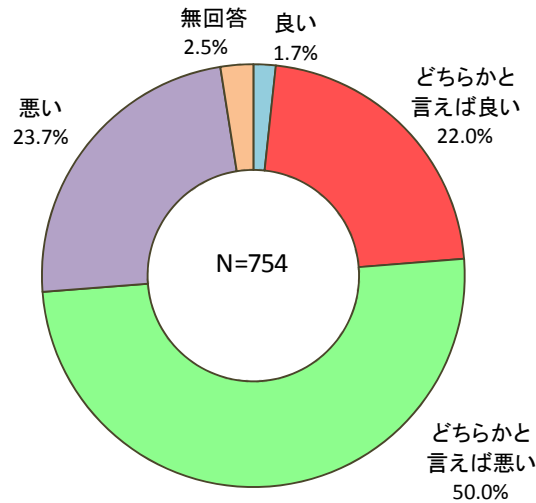
「その他」は、20年以上（34.7%）で最も高く、次いで5～10年未満（29.5%）となっている。「買い物」は、5～10年未満（40.9%）で最も高く、次いで10～20年未満（34.4%）となっている。

①通勤 ②通学 ③仕事 ④買い物 ⑤趣味 ⑥運動 ⑦その他 ⑧無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



問2 自転車利用者のマナーについてどのように感じますか。次の中から1つだけお選びください。



【全体】

「どちらかと言えば悪い」が50.0%と最も高く、次いで「悪い」が23.7%、「どちらかと言えば良い」が22.0%となっている。

【圏域別】

「どちらかと言えば悪い」は、道北圏（62.7%）で最も高く、次いで十勝圏（54.0%）となっている。「悪い」は、道央圏（27.8%）で最も高く、次いで十勝圏（20.0%）となっている。

【人口規模別】

「どちらかと言えば悪い」は、町村部（55.3%）で最も高く、次いで人口10万人以上の都市（52.7%）となっている。「悪い」は、札幌市（32.9%）で最も高く、次いで人口10万人以上の都市（20.2%）となっている。

【性別】

「どちらかと言えば悪い」は、男性50.5%、女性49.4%となっている。「悪い」は、男性26.2%、女性21.3%となっている。

【年代別】

「どちらかと言えば悪い」は、50～59歳（54.3%）で最も高く、次いで70歳以上（51.4%）となっている。「悪い」は、50～59歳（25.9%）で最も高く、次いで20～29歳（25.0%）となっている。

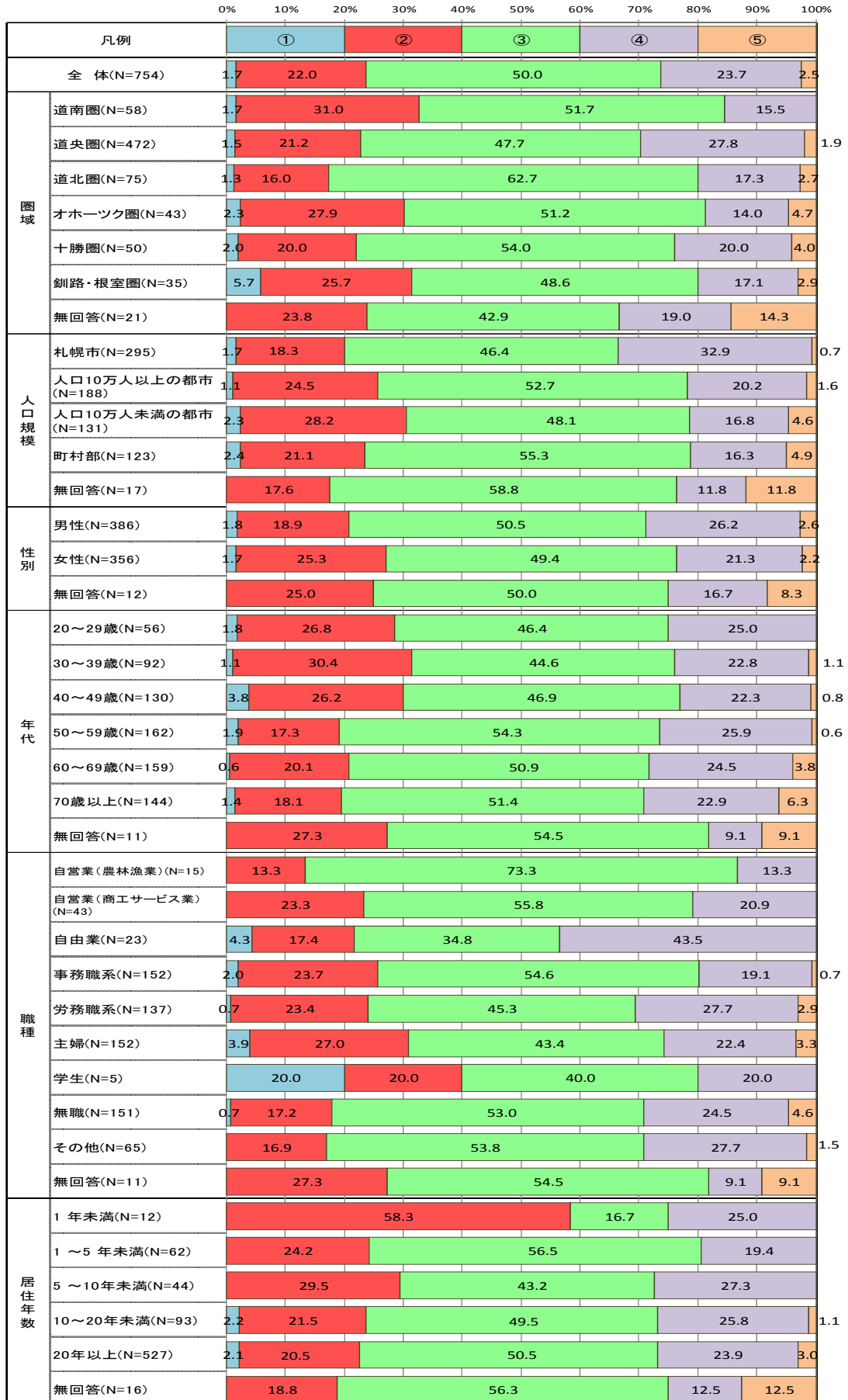
【職種別】

「どちらかと言えば悪い」は、自営業（農林漁業）（73.3%）で最も高く、次いで自営業（商工サービス業）（55.8%）となっている。「悪い」は、自由業（43.5%）で最も高く、次いで労務職系、その他（ともに27.7%）となっている。

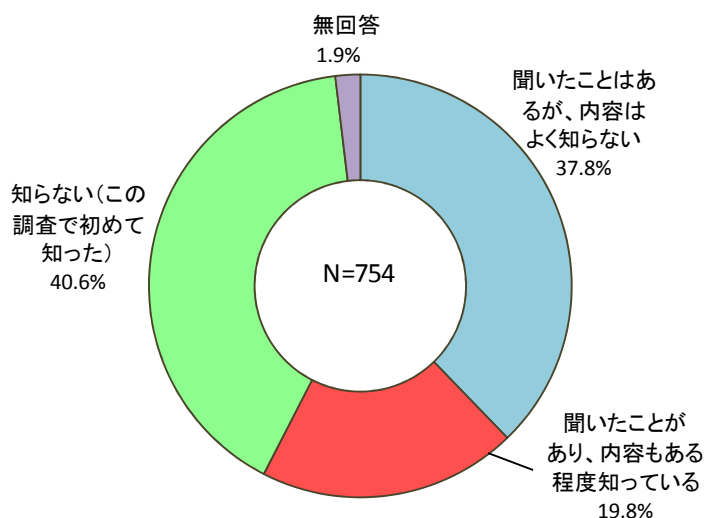
【居住年数別】

「どちらかと言えば悪い」は、1～5年未満（56.5%）で最も高く、次いで20年以上（50.5%）となっている。「悪い」は、5～10年未満（27.3%）で最も高く、次いで10～20年未満（25.8%）となっている。

①良い ②どちらかと言えば良い ③どちらかと言えば悪い ④悪い ⑤無回答



問3 自転車を安全に利用する上で守らなければならないルールを定めた「自転車安全利用五則」をご存じですか。次の中から1つだけお選びください。



【全体】

「知らない(この調査で初めて知った)」が40.6%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が37.8%、「聞いたことがあり、内容もある程度知っている」が19.8%となっている。

【圏域別】

「知らない(この調査で初めて知った)」は、オホーツク圏(48.8%)で最も高く、次いで道北圏(45.3%)となっている。「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」は、道南圏(46.6%)で最も高く、次いで釧路・根室圏(42.9%)となっている。

【人口規模別】

「知らない(この調査で初めて知った)」は、人口10万人以上の都市(44.1%)で最も高く、次いで町村部(42.3%)となっている。「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」は、人口10万人未満の都市(42.0%)で最も高く、次いで札幌市(39.0%)となっている。

【性別】

「知らない(この調査で初めて知った)」は、男性39.9%、女性41.9%となっている。「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」は、男性36.3%、女性39.6%となっている。

【年代別】

「知らない(この調査で初めて知った)」は、30～39歳(58.7%)で最も高く、次いで50～59歳(43.8%)となっている。「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」は、20～29歳(42.9%)で最も高く、次いで40～49歳(42.3%)となっている。

【職種別】

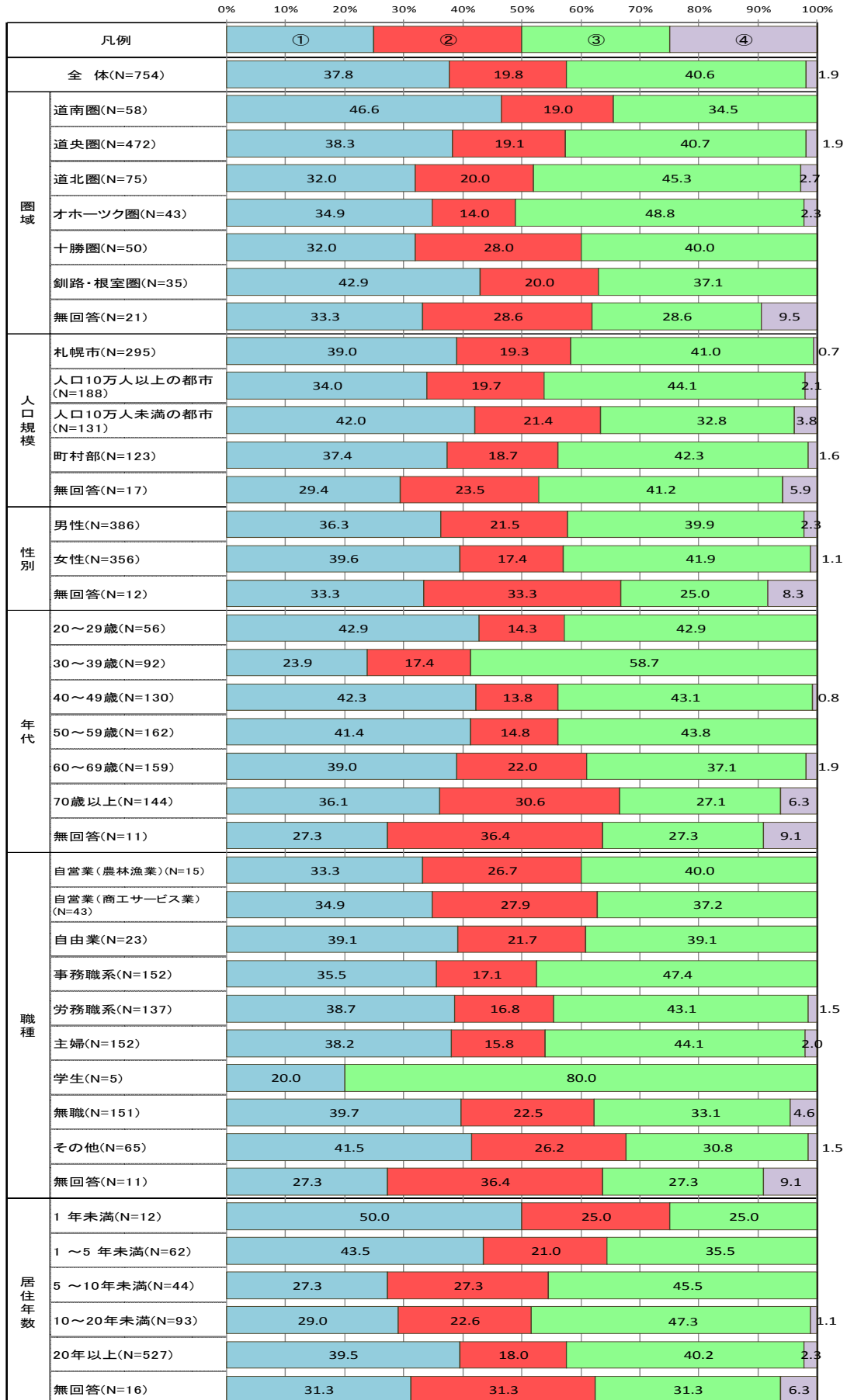
「知らない(この調査で初めて知った)」は、事務職系(47.4%)、主婦(44.1%)、労務職系(43.1%)で比較的高くなっている。「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」は、その他(41.5%)で最も高く、次いで無職(39.7%)となっている。

【居住年数別】

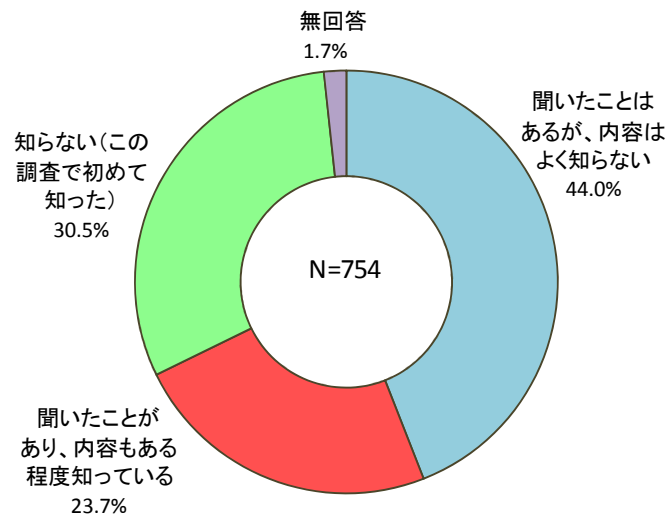
「知らない(この調査で初めて知った)」は、10～20年未満(47.3%)で最も高く、次いで5～10年未満(45.5%)となっている。

「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」は、1年未満(50.0%)で最も高く、次いで1～5年未満(43.5%)となっている。

①聞いたことはあるが、内容はよく知らない ②聞いたことがあり、内容もある程度知っている
 ③知らない(この調査で初めて知った) ④無回答



問4 平成27年6月から始まった、酒酔い運転、信号無視などの危険行為を反復した方に対して受講を義務付ける「自転車運転者講習」をご存じですか。次の中から1つだけお選びください。



【全体】

「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が44.0%と最も高く、次いで「知らない（この調査で初めて知った）」が30.5%、「聞いたことがあり、内容もある程度知っている」が23.7%となっている。

【圏域別】

「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」は、釧路・根室圏（51.4%）で最も高く、次いで道北圏（48.0%）となっている。「知らない（この調査で初めて知った）」は、オホーツク圏（39.5%）で最も高く、次いで道北圏（33.3%）となっている。

【人口規模別】

「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」は、人口10万人以上の都市（45.2%）で最も高く、次いで札幌市（44.1%）となっている。「知らない（この調査で初めて知った）」は、人口10万人未満の都市（32.8%）で最も高く、次いで町村部（31.7%）となっている。

【性別】

「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」は、男性44.8%、女性43.5%となっている。「知らない（この調査で初めて知った）」は、男性24.6%、女性37.4%となっている。

【年代別】

「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」は、40～49歳（56.2%）で最も高く、次いで20～29歳（48.2%）となっている。「知らない（この調査で初めて知った）」は、30～39歳（39.1%）で最も高く、次いで50～59歳（38.3%）となっている。

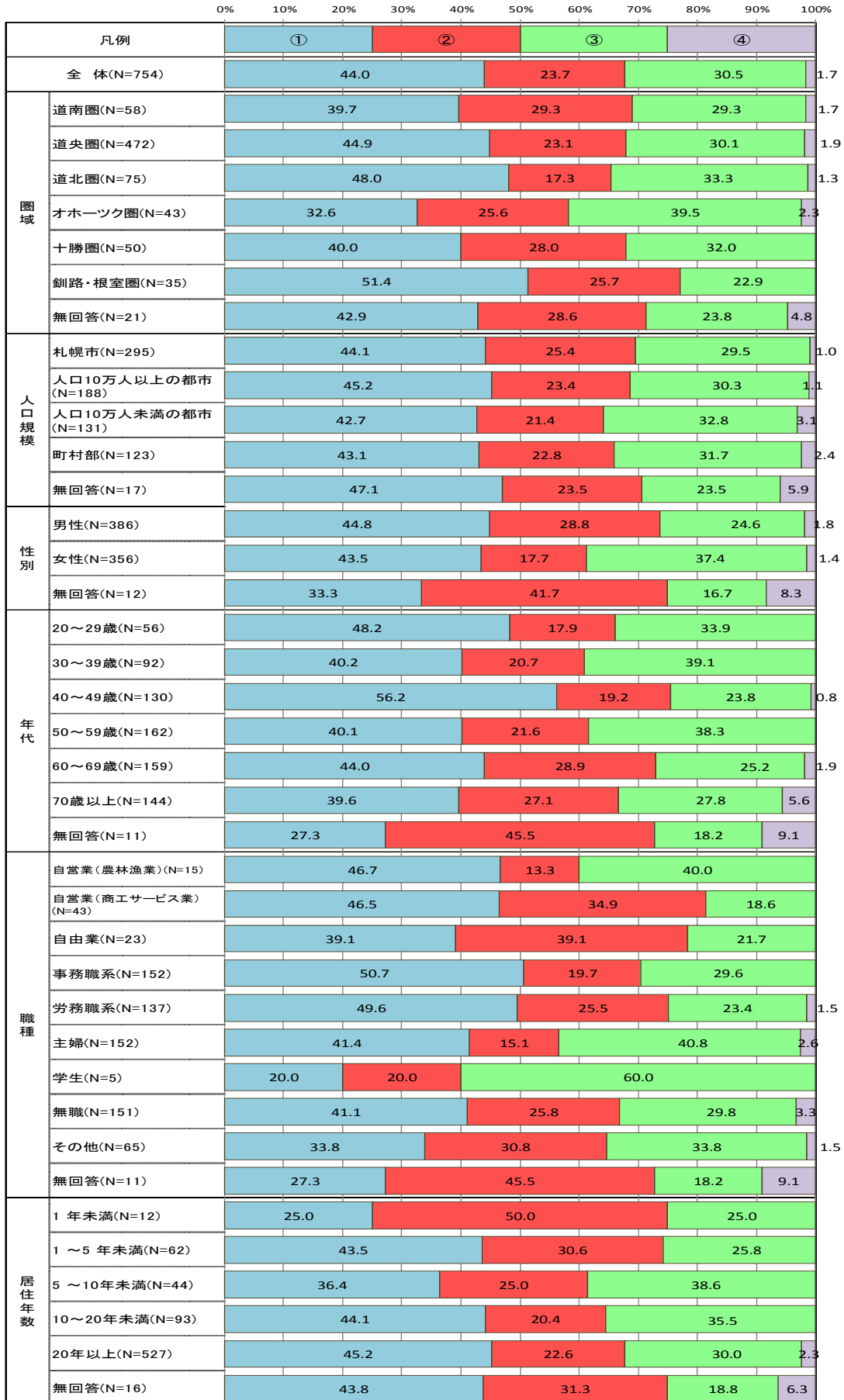
【職種別】

「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」は、事務職系（50.7%）で最も高く、次いで労務職系（49.6%）となっている。「知らない（この調査で初めて知った）」は、主婦（40.8%）、自営業（農林漁業）（40.0%）が比較的高くなっている。

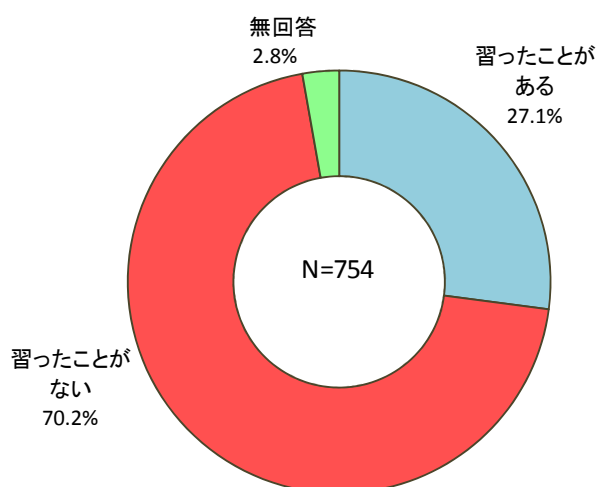
【居住年数別】

「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」は、20年以上（45.2%）で最も高く、次いで10～20年未満（44.1%）となっている。「知らない（この調査で初めて知った）」は、5～10年未満（38.6%）で最も高く、次いで10～20年未満（35.5%）となっている。

①聞いたことはあるが、内容はよく知らない ②聞いたことがあり、内容もある程度知っている
 ③知らない(この調査で初めて知った) ④無回答



問5 あなたは自転車利用のルールについて、今までに習う機会がありましたか。次の中から1つだけお選びください。



【全体】

「習ったことがない」が70.2%、「習ったことがある」が27.1%となっている。

【圏域別】

「習ったことがない」は、道央圏（72.5%）で最も高く、次いで道南圏（72.4%）となっている。「習ったことがある」は、十勝圏（44.0%）で最も高く、次いで道北圏（32.0%）となっている。

【人口規模別】

「習ったことがない」は、札幌市（75.9%）で最も高く、次いで町村部（68.3%）となっている。「習ったことがある」は、人口10万人未満の都市（30.5%）で最も高く、次いで人口10万人以上の都市（30.3%）となっている。

【性別】

「習ったことがない」は、男性71.2%、女性68.8%となっている。「習ったことがある」は、男性25.9%、女性28.7%となっている。

【年代別】

「習ったことがない」は、60～69歳（84.3%）で最も高く、次いで70歳以上（80.6%）となっている。「習ったことがある」は、20～29歳（51.8%）で最も高く、次いで30～39歳（48.9%）となっている。

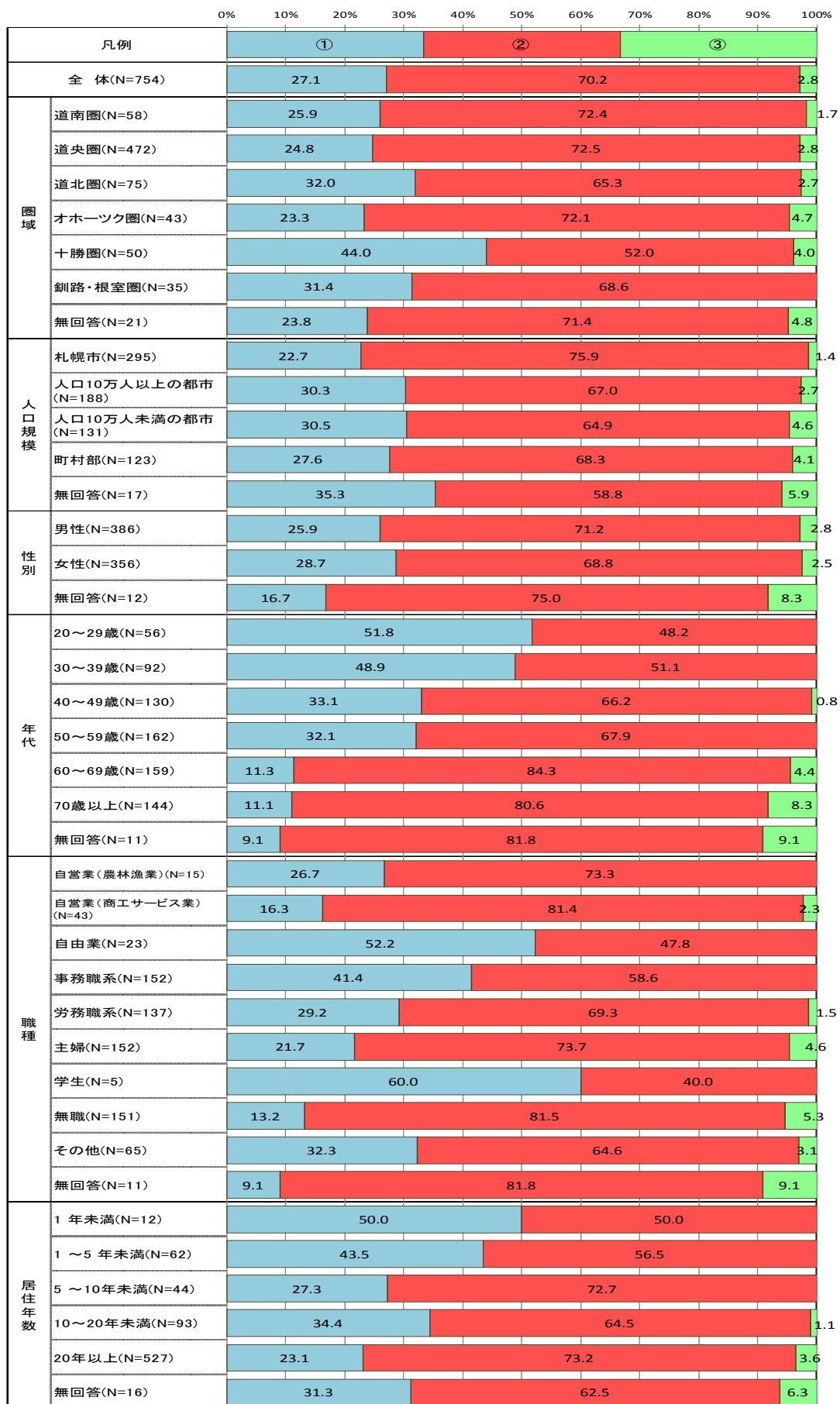
【職種別】

「習ったことがない」は、無職（81.5%）で最も高く、次いで自営業（商工サービス業）（81.4%）となっている。「習ったことがある」は、自由業（52.2%）、事務職系（41.4%）で比較的高くなっている。

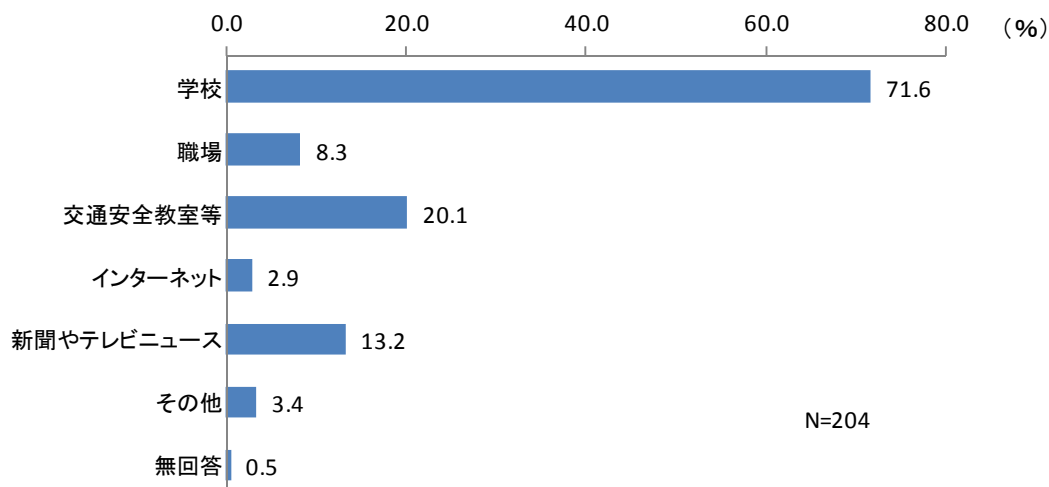
【居住年数別】

「習ったことがない」は、20年以上（73.2%）で最も高く、次いで5～10年未満（72.7%）となっている。「習ったことがある」は、1年未満（50.0%）で最も高く、次いで1～5年未満（43.5%）となっている。

①習ったことがある ②習ったことがない ③無回答



問6 ※「問5」で選択肢「1」を選んだ方のみお答えください。どのような機会（媒体）に習いましたか。次の中から該当するものをすべてお選びください。



【全体】

「学校」が71.6%と最も高く、次いで「交通安全教室等」が20.1%、「新聞やテレビニュース」が13.2%となっている。

【圏域別】

「学校」は、オホーツク圏（100.0%）で最も高く、次いで道央圏（76.1%）となっている。「交通安全教室等」は、道北圏（33.3%）で最も高く、次いで道央圏（21.4%）となっている。

【人口規模別】

「学校」は、札幌市（77.6%）で最も高く、次いで人口10万人未満の都市（75.0%）となっている。「交通安全教室等」は、町村部（29.4%）で最も高く、次いで人口10万人未満の都市（25.0%）となっている。

【性別】

「学校」は、男性64.0%、女性79.4%となっている。「交通安全教室等」は、男性22.0%、女性18.6%となっている。

【年代別】

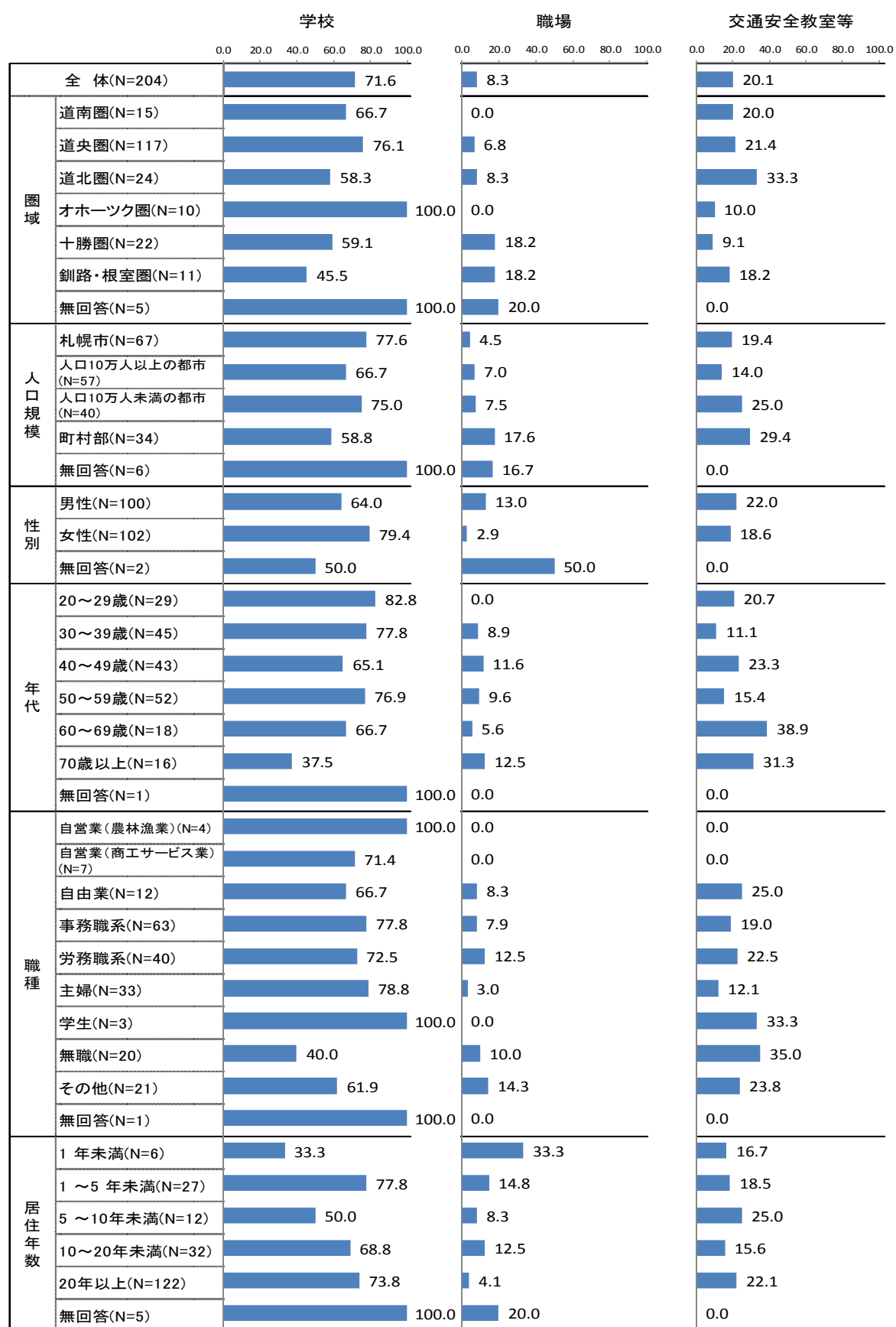
「学校」は、20～29歳（82.8%）で最も高く、次いで30～39歳（77.8%）となっている。「交通安全教室等」は、60～69歳（38.9%）で最も高く、次いで70歳以上（31.3%）となっている。

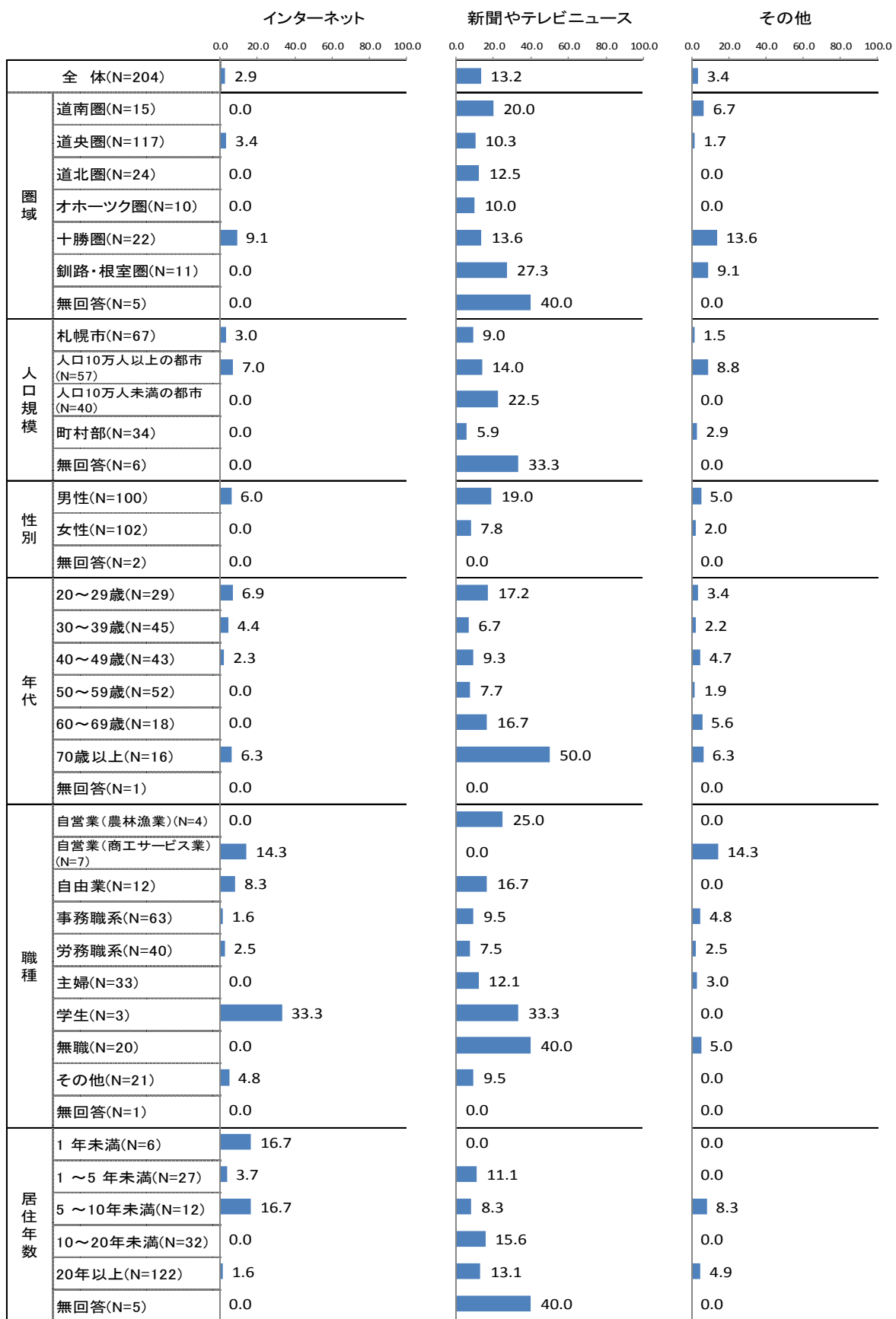
【職種別】

「学校」は、主婦（78.8%）、事務職系（77.8%）で比較的高くなっている。「交通安全教室等」は、無職（35.0%）、自由業（25.0%）で比較的高くなっている。

【居住年数別】

「学校」は、1～5年未満（77.8%）で最も高く、次いで20年以上（73.8%）となっている。「交通安全教室等」は、5～10年未満（25.0%）で最も高く、次いで20年以上（22.1%）となっている。



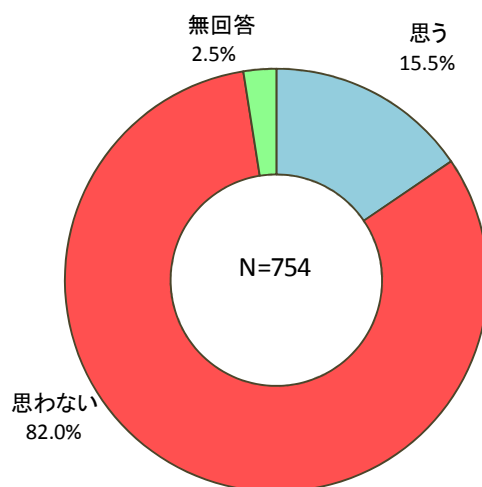


無回答

0.0 20.0 40.0 60.0 80.0 100.0

全 体(N=204)		0.5
圏 域	道南圏(N=15)	0.0
	道央圏(N=117)	0.0
	道北圏(N=24)	4.2
	オホーツク圏(N=10)	0.0
	十勝圏(N=22)	0.0
	釧路・根室圏(N=11)	0.0
	無回答(N=5)	0.0
	人 口 規 模	札幌市(N=67)
人口10万人以上の都市 (N=57)		0.0
人口10万人未満の都市 (N=40)		0.0
町村部(N=34)		2.9
無回答(N=6)		0.0
性 別	男性(N=100)	0.0
	女性(N=102)	1.0
	無回答(N=2)	0.0
年 代	20～29歳(N=29)	0.0
	30～39歳(N=45)	2.2
	40～49歳(N=43)	0.0
	50～59歳(N=52)	0.0
	60～69歳(N=18)	0.0
	70歳以上(N=16)	0.0
	無回答(N=1)	0.0
職 種	自営業(農林漁業)(N=4)	0.0
	自営業(商工サービス業) (N=7)	0.0
	自由業(N=12)	0.0
	事務職系(N=63)	0.0
	労務職系(N=40)	2.5
	主婦(N=33)	0.0
	学生(N=3)	0.0
	無職(N=20)	0.0
	その他(N=21)	0.0
	無回答(N=1)	0.0
	居 住 年 数	1年未満(N=6)
1～5年未満(N=27)		0.0
5～10年未満(N=12)		0.0
10～20年未満(N=32)		0.0
20年以上(N=122)		0.8
無回答(N=5)		0.0

問7 自転車のルールを学ぶための機会は十分だと思いますか。次の中から1つだけお選びください。



【全体】

「思わない」が82.0%、「思う」が15.5%となっている。

【圏域別】

「思わない」は、釧路・根室圏（85.7%）で最も高く、次いでオホーツク圏（83.7%）となっている。「思う」は、十勝圏（20.0%）で最も高く、次いで道南圏（17.2%）となっている。

【人口規模別】

「思わない」は、札幌市（83.4%）で最も高く、次いで人口10万人以上の都市（83.0%）となっている。「思う」は、町村部（20.3%）で最も高く、次いで人口10万人未満の都市（16.0%）となっている。

【性別】

「思わない」は、男性82.1%、女性82.0%となっている。「思う」は、男性15.0%、女性16.0%となっている。

【年代別】

「思わない」は、50～59歳（86.4%）で最も高く、次いで60～69歳（85.5%）となっている。「思う」は、20～29歳（37.5%）で最も高く、次いで30～39歳（16.3%）となっている。

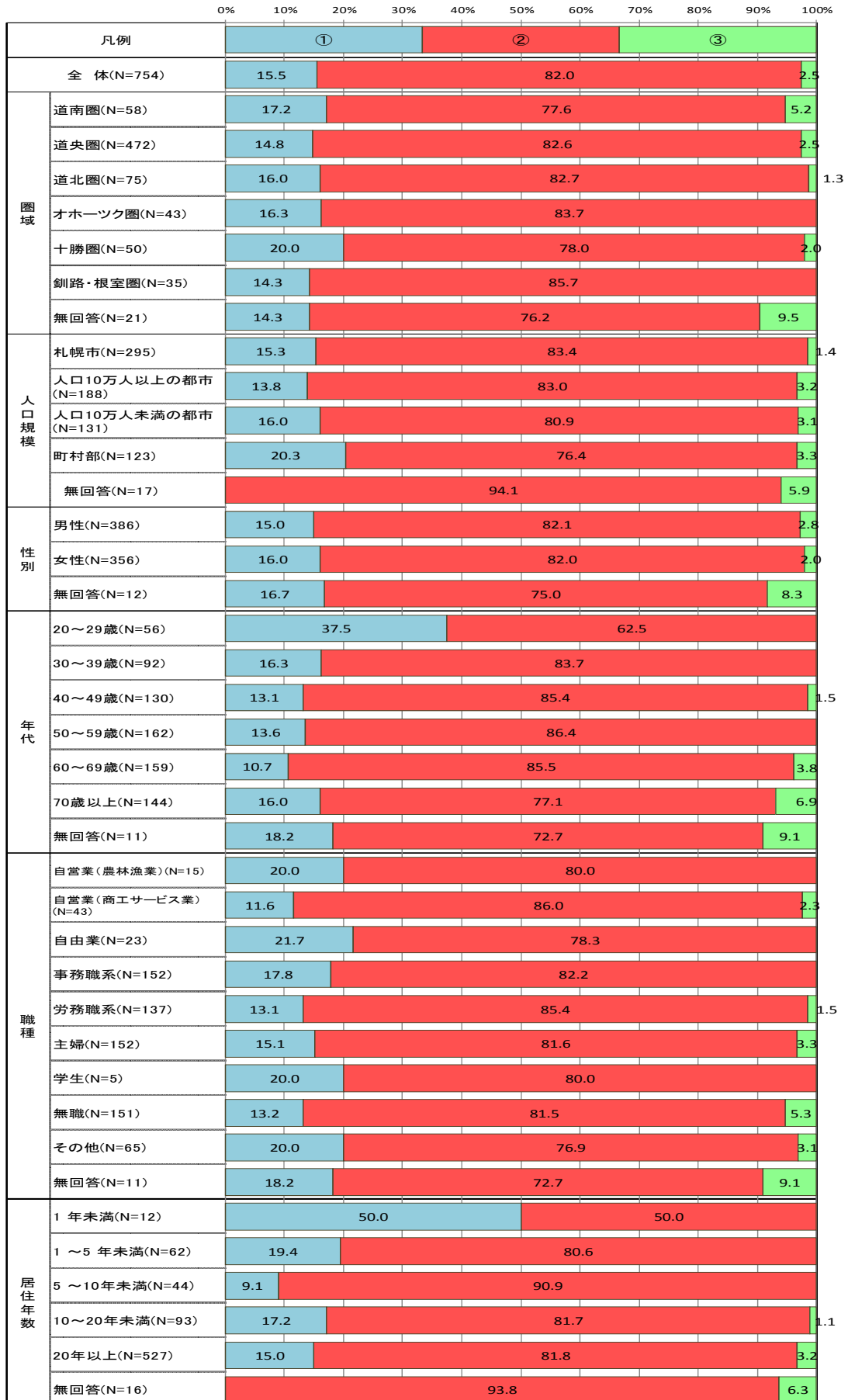
【職種別】

「思わない」は、自営業（商工サービス業）（86.0%）で最も高く、次いで労務職系（85.4%）となっている。「思う」は、自由業（21.7%）で最も高く、次いで自営業（農林漁業）、その他（ともに20.0%）となっている。

【居住年数別】

「思わない」は、5～10年未満（90.9%）で最も高く、次いで20年以上（81.8%）となっている。「思う」は、1年未満（50.0%）で最も高く、次いで1～5年未満（19.4%）となっている。

①思う ②思わない ③無回答



「自転車の利用実態等について」の調査を終えて

自転車の利用目的は、買い物（26.5%）、運動（13.9%）、通勤（9.5%）の順に多く、利用者のマナーについては、「悪い」・「どちらかと言えば悪い」という回答が7割以上を占めている。

また、「自転車安全利用五則」を知らないという回答が約4割、「自転車運転者講習」を知らないという回答が約3割で、今までに自転車利用のルールを「習ったことがない」という回答が約7割、自転車のルールを学ぶ機会が十分だと「思わない」という回答が8割以上を占めている。

調査結果から、自転車に関する交通安全教育を受ける機会が少ないことが、自転車利用のルール違反やマナーの悪さにつながっているものと推測される。

自転車のルールを「習ったことがある」と回答した人の教育機会は、学校が最も多く、次いで、交通安全教室等、新聞やテレビニュースであることから、今後も関係機関・団体と連携し、中学校・高等学校等における交通安全教室を継続するとともに、新聞やテレビ、インターネット等の各種広報媒体を活用した情報発信活動を積極的に行い、自転車利用のルール周知を図っていく。

（北海道警察本部交通部交通企画課）
（環境生活部くらし安全局道民生活課）